

化粧品容器の新たな可能性を追求

植物や鉱物を利用したプラスチック容器の質感改善を目指し 千葉大学大学院 工学研究院との共同研究を開始

>>>2020. 07.13

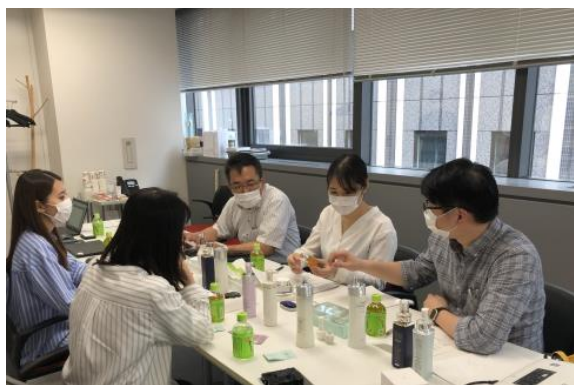
株式会社アルビオン(東京・中央区、小林章一 代表取締役社長)は、植物や鉱物といった天然由来物をプラスチックに配合することにより今までにない化粧品容器質感の創出を目指し、千葉大学(千葉県千葉市・稲毛区 徳久剛史学長)大学院 工学研究院 寺内文雄教授と共同研究を開始しましたのでお知らせいたします。

アルビオンはお客様にご満足いただける製品づくりのため、内容物はもちろんのこと、安心・安全にご使用いただける高級化粧品にふさわしい容器の研究開発に取り組んでまいりました。

化粧品容器はプラスチックを多く使用しますが、当社では植物由来プラスチックやリサイクル素材を使用するなど、地球環境にやさしい製品づくりにいち早く取り組んでまいりました。

このたび、天然由来の素材を混ぜ合わせるにより、プラスチックの使用量をさらに削減して地球環境に配慮しながらも、容器に様々な質感を付与することでより美しく価値のある化粧品容器の開発を目指すため、千葉大学大学院 工学研究院 寺内教授のご協力のもと共同研究を開始することとなりました。

今後はこの研究成果を活かし、環境への配慮と高級品のイメージ醸成の両立をかなえる新たな容器開発を目指してまいります。



寺内教授とアルビオン担当者



異なる素材を混ぜ、質感・印象を変化させたプラスチック